

別添-1 事業採択後10年を経た事業に係る評価手法選定表(污水)

事業主体	伊 奈 町	事業種別	公共下水道(流関)	処 理 区	中 川 処 理 区
事業費	当初全体計画 10,210百万円 当初認可計画 764百万円 現行認可計画 31,307百万円				
計画見直し等の推移	項 目	当初全体計画	当初認可計画	現行認可計画	整 備 状 況
	処理区域面積	440 ha	28 ha	541.2 ha	519.5 ha
	処理人口	24,000 人	1,540 人	20,700 人	28,964 人
	流入水量	27,675 m ³ /日	924 m ³ /日	15,280 m ³ /日	7,047 m ³ /日
	管渠延長	132.0 km	9.4 km	167.7 km	161.2 km
	ポンプ能力	1 箇所	－ 箇所	1 箇所	－ 箇所
	処理場処理能力	－ m ³ /日	－ m ³ /日	－ m ³ /日	－ m ³ /日
	汚泥処理能力	－ t/日	－ t/日	－ t/日	－ t/日
評価手法の判定項目					
項 目	評 価				
関連計画及び関連事業の状況	上位計画である中川流総計画に整合した現行全体計画及び認可計画により事業を継続中である。また、関連事業に大きな変動はなく、当該事業の進捗に特に問題となることはない。				
事業の進捗状況	当該事業は、現行認可計画に対して、順調に進捗している。 〈平成19年度末における進捗状況〉 処理面積 519.5ha、処理人口 28,964人、管渠延長 161.2km 処理場処理能力 ー m ³ /日、汚泥処理能力 ー t/日				
地元情勢	当該事業に係る地権者及び周辺住民の事業に対する理解、協力が得られており地元からは当該事業の進捗に対する強い要望がある。				
総 合 評 価					
上記評価の結果、すべての評価事項に対して、順調に進捗しているものと認められるので、「チェックリストによる評価手法」を適用するものとする。					

別添-2 再評価チェックリスト(汚水)

事業主体	伊 奈 町	事業種別	公共下水道(流関)	処理区	中川処理区
事業費	当初全体計画 10,210 百万円	当初認可計画	764 百万円	現行認可計画	31,307 百万円
計画見直し等の推移	項 目	当初全体計画	当初認可計画	現行認可計画	整備状況
	処理区域面積	440 ha	28 ha	541.2 ha	519.5 ha
	処理人口	24,000 人	1,540 人	20,700 人	28,964 人
	流入水量	27,675 m ³ /日	924 m ³ /日	15,280 m ³ /日	7,047 m ³ /日
	管渠延長	132.0 km	9.4 km	167.7 km	161.2 km
	ポンプ能力	1 箇所	— m ³ /分	1 箇所	1 箇所
	処理場処理能力	— m ³ /日	— m ³ /日	— m ³ /日	— m ³ /日
	汚泥処理能力	— t/日	— t/日	— t/日	— t/日
項目別評価					
項 目	評 価				
事業費の推移	現在のところ、確保可能な範囲で年度別事業費が設定されており、問題がない。				
処理場用地の取得状況	流域関連公共下水道事業のため処理場は、必要としない				
施設の供用状況	管渠については、平成19年度末、整備管渠延長 161.2kmに対し、供用延長も161.2kmであり、順調に進んでいる。				
供用開始区域の接続状況	平成19年度末の接続率(水洗化率)は、約86.7%である。				
地元情勢の変化の有無	事業着手時点と変化なく、下水道事業に理解を得ている。				
社会経済状況	厳しい財政状況が続いているが、当町における下水道施策は、重要施策として位置付けており住環境整備、環境対策、河川の水質浄化等のため計画的に整備を行っている。				
自然環境条件	事業着手時点と比べて、著しい変化はない。				
全体計画の変更	上位計画の変更により、現状に即した計画目標年次や原単位等の見直しを行う。				
費用効果分析	費用便益比 = 総便益 / 総費用 = 2.902 ÷ 2.90				
総 合 評 価					
事業を継続・推進し、住環境整備、環境対策、河川の水質浄化等を図る必要がある。					